



社会福祉法人 やながせ福社会

通所介護

勝原デイ・サービスセンター

平成28年度 事業目標

「デイサービス職員のマンパワー（介護力、人間力、情報伝達力など）を強化することにより、更なるサービスの質の向上を図る」

介護・福祉に関する専門的知識および職員として必要な能力（技術）の充実を図ることにより、重度化していく認知症や身体の不自由な利用者に対し、柔軟に対応できるデイサービスを目指す。

- (1) 男性利用者専用のサービス（通称「男の隠れ家」）の営業日を、現在の週2回から週3回（月・水・金曜日）に増やし、囲碁将棋・園芸活動・ものづくり・ストレッチ体操等サービス内容や活動内容の充実を図る。
- (2) レクリエーション・機能訓練・リハビリ体操など主要な業務において、客観的評価を行うため、段階的基準を独自に設定し、この基準に基づき利用者個人の能力・状態に応じたケアの実践に努める。
- (3) デイサービス内外の情報の共有・連携を徹底することで、利用者および家族がより快適に安心して利用できる状況作りに努める。

平成28年度 事業報告

- (1) 男性利用者専用のサービス（通称「男の隠れ家」）の営業日を月、水、金の週3回に増やし、月曜日は「映画鑑賞日」、水曜日は「園芸活動（菊の盆栽）」、金曜日は「外出による機能訓練」と活動内容の確立が出来た。ただし、水曜日の園芸活動は、菊の花が咲くまでの活動となってしまった為、冬場は活動できなかった事が反省点である。
- (2) レクリエーション、機能訓練、リハビリ体操は活動の目的や心身機能への効果などを利用者と共に共有し、利用者自身が意識して取り組めるように努めた。段階的基準を設けるまでには至らなかったが、利用者の自己決定を大切に、利用者の状況に合わせて、生活リハビリとしてのモップ掛けや洗濯物たたみ、屋外歩行訓練など生活機能へ働きかける活動に力を入れることができた。
- (3) 毎月の会議で利用者一人ひとりの情報共有を行い、事業所内でケアや意識の統一を図ることができた。また、生活相談員だけでなく、介護職員、看護師等の各職種が家族や担当介護支援専門員に報告すべき統一した事項を定めたことで、利用者の身体状況や利用中の様子を誰もが同じように伝達することが可能となり、安心して利用してもらえるための連携がとれた。

平成 28 年度 事業運営総括

1. 利用実績について

年間稼働率に関しては、前年度が 49%、当年度は 65%と 16%の増加となった。その要因としては、前年度末に開始した男性向けサービス(通称：男の隠れ家)が居宅介護支援事業所の介護支援専門員に周知してもらえたことが考えられる。また、新規利用者が継続して利用して頂けたことが考えられる。

さらに、事業所として感染予防に注意を払ったことで冬場にインフルエンザなどの感染者が出る事なく、1年を通じて利用して頂けたことが稼働率の増加に繋がった。

2. 利用者状況について

介護度の推移状況だが、前年度は平均介護度が 2.5 であったが、今年度は 2.16 と大幅に下がっている。この要因としては、男の隠れ家を利用されている利用者の介護度が低いという点があげられる。年度末時点で、男の隠れ家を利用されている利用者の介護度は要支援 1 が 2 名、要支援 2 が 2 名、要介護 1 が 11 名、要介護 2 が 4 名、要介護 3 が 1 名、要介護 4 が 3 名、要介護 5 が 0 名となっている。

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	ドライブ:花見(機能訓練) (太子町)	漢字トレーニング パズル・塗り絵	点取りゲーム 連想ゲーム 旗上げ体操
5月	散策公園散歩	漢字トレーニング パズル・塗り絵	言葉集めゲーム 点取りゲーム
6月	ドライブ:紫陽花観賞 (たつの市御津町)	間違いさがし パズル・ちぎり絵	玉入れ合戦 競馬ゲーム うちわ体操
7月	七夕会	漢字トレーニング パズル・ちぎり絵	連想ゲーム 物送りゲーム ボール送りゲーム
8月	納涼祭	漢字トレーニング パズル・塗り絵	点取りゲーム ボールリング入れゲーム 指折り体操
9月	散策公園散歩	漢字トレーニング パズル・ちぎり絵	みんなで唄おう 紅白旗上げゲーム 点取りゲーム
10月	ドライブ:コスモス観賞 (たつの市揖保川町)	計算問題 パズル・塗り絵	言葉集めゲーム 指折り体操
11月	東坂老人クラブとの交流会	漢字トレーニング コーラス・ちぎり絵	点取りゲーム ブロック積みゲーム グーパー体操
12月	クリスマス会	計算問題 コーラス・ちぎり絵	点取りゲーム お手玉台乗せゲーム 旗上げ体操
1月	ドライブ:初詣 (魚吹八幡神社)	計算問題 カラオケ・塗り絵	しりとり 連想ゲーム グーパー体操
2月	豆まき	間違いさがし カラオケ・ちぎり絵	点取りゲーム ブロック積みゲーム 旗上げ体操
3月	ドライブ:梅見(機能訓練) (太子町)	塗り絵 カラオケ・パズル	点取りゲーム グーパー体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会 世代間交流	ちぎり絵・脳トレーニング コーラス・囲碁・将棋・オセロ	リハビリ体操

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.16》

平成29年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	4	7%
要支援2	2	4%
要介護1	15	26%
要介護2	13	23%
要介護3	14	24%
要介護4	7	12%
要介護5	2	4%
合計	57	100%

月間利用実績(人数)

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	3	4	4	3	3	4	5	5	4	4	4	44
要支援2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	23
要介護1	10	8	10	10	10	10	13	14	15	15	16	15	146
要介護2	13	13	13	15	16	15	13	13	14	14	12	13	164
要介護3	10	11	12	11	10	12	14	13	14	13	14	14	148
要介護4	4	3	4	4	4	4	5	5	5	4	5	7	54
要介護5	5	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	38
合計	45	43	48	49	48	49	54	55	58	55	56	57	617

月間利用実績(延べ人数) 《稼働率 65%》

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	12	14	13	13	12	17	19	17	15	15	13	164
要支援2	8	10	12	10	12	11	2	9	11	10	8	12	115
要介護1	106	95	104	96	108	101	124	142	142	141	134	134	1,427
要介護2	117	123	131	141	160	153	132	128	133	126	99	121	1,564
要介護3	87	83	89	96	80	94	126	107	118	89	100	105	1,174
要介護4	28	19	25	25	24	23	34	39	32	29	33	52	363
要介護5	23	16	15	15	23	21	16	19	21	32	22	18	241
合計	373	358	390	396	420	415	451	463	474	442	411	455	5,048

開所日数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309

曜日別延べ利用実績

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	988	708	1,039	600	989	724	5,048
割合	20%	13%	21%	12%	20%	14%	100%

1週当り平均利用人員

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	19.4	13.9	20	11.8	18.7	14.2	98	16.33
割合	20%	14%	21%	12%	19%	14%	100%	—

回数別利用人員

平成29年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	20	16	16	3	2	0	57
割合	35%	28%	28%	5%	4%	0%	100%

保険者の状況

平成29年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	53
太子町	4
合計	57

年齢別構成状況

平成29年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	4	7	9	9	6	1	36
女	0	0	3	1	5	6	6	21
全体	0	4	10	10	14	12	7	57

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩 行	自 立 歩 行	23	40.3%
	杖等の歩行補助器使用	18	31.6%
	車 椅 子 使 用	16	28.1%
食 事	自 分 で 可 能	52	91.2%
	一 部 介 助	5	8.8%
	全 部 介 助	0	0.0%
入 浴	自 分 で 可 能	15	26.3%
	一 部 介 助	41	71.9%
	全 部 介 助	1	1.8%
着 替	自 分 で 可 能	17	29.8%
	一 部 介 助	39	68.4%
	全 部 介 助	1	1.8%

平成29年3月31日 現 在

区 分		実数	割合	
排 泄	トイレ	自分で可能	25	43.9%
		介 助	32	56.1%
	内おむつ使用		29	50.9%
認 知 症 老 人		36	63.2%	

対 象 人 数	57
---------	----

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・接遇研修の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて	全常勤	41名	4月1日	副施設長(塩見優次)
認知症研修	認知症とチームケアについて	介護職員 看護職員	66名	4月18日～4月22日 (5回)	認知症委員会
新任職員研修	労務管理・介護保険制度・人権について	パート 職員	4名	5月2日	各部署代表者
新任職員研修	法人理念・規程・労務・介護・看護・栄養・ケアプラン・居宅・地域包括事業について	新任 職員	20名	5月10日	各部署代表者
喀痰吸引研修	吸引の必要性・方法について	全職種	56名	5月23日～5月27日 (5回)	看護師
産業医研修	生活習慣病について	全職種	31名	6月2日	嘱託医(久保清一郎)
褥瘡予防研修①	オムツの機能の理解とあて方について	介護職員 看護職員	51名	6月8日～6月10日 (3回)	褥瘡委員会 ユニチャーム
感染症対応研修	ノロウイルス対策とマニュアルの説明について	全職種	53名	6月20日～6月24日 (5回)	感染・衛生委員会
リスクマネジメント研修	平成27年度事故報告書集計結果報告・事故報告書の書き方について	全職種	32名	7月25日～7月29日 (5回)	リスク管理委員会
災害・非常食対応研修	災害・非常食の食事提供の取り組みについて	全職種	56名	8月15日～8月19日 (5回)	栄養委員会
食事研修	食事介助について	介護職員 看護職員	56名	9月26日～9月30日 (5回)	介護向上委員会
褥瘡予防研修②	オムツのあて方と陰部洗浄について	介護職員 看護職員	55名	10月12日～10月14日 (3回)	褥瘡委員会 ユニチャーム
社会資源研修	小規模多機能居宅介護について	全職種	51名	11月21日～11月25日 (5回)	社会資源委員会
災害対策研修	水害・地震対策マニュアルについて	全職種	50名	12月26日～12月29日 (4回)	安全対策委員会
介護保険制度研修	介護保険制度について	全職種	47名	1月23日～1月27日 (5回)	在宅サービス委員会
身体拘束・虐待予防研修	非言語コミュニケーションについて	全職種	50名	2月20日～2月24日 (5回)	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	平成28年度事故報告書集計結果報告・ヒヤリハット報告書について	全職種	40名	3月27日～3月31日 (5回)	リスク管理委員会

参加人数は併設事業所も含む。

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
セイフティマネジメント研修	「セイフティマネジメント」と「リスクマネジメント」について(講義)	全常勤	60名	6月7日～6月8日	株式会社CMI代表取締役 (丸岡義明先生)
介護業界とサービス研修	福祉産業、介護業界でのサービスについて(講義)	全常勤	63名	10月24日～10月28日 (3回)	勝原第二デザインサービス (管理者・辻勝彦)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	・ 研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
兵庫県老人福祉事業協会 平成28年度「認知症機能訓練 (4DAS) 基礎研修」	4DAS開発の経緯・進め方、認知症観の転換、レクリ エーションとは	生活相談員	1名	7月11日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 平成28年度「認知症機能訓練 (4DAS) 実践研修」	演習を通じて4DASを理解し、自事業所で実践できる	生活相談員	1名	8月5日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
4月26日	部分訓練	新任職員に対する非常設備・避難訓練の流れの説明
5月9日	消火器使用方法の説明	消火器の適正な使用方法等
6月13日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
7月11日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
9月26日 ～ 9月30日	避難訓練マニュアルの研修	改訂版の避難訓練マニュアルの説明
11月24日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
12月19日 ～ 12月23日	施設内研修 (災害時対応について)	地震、水害時に関するマニュアルの確認

苦情対応

平成28年度は苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成28年 4月4日	「誤薬について」 持参された内服薬を誤って職員が他利用者に渡し服用してしまう。	① 薬の説明書にて、持参された薬の用途、服用時間、利用者を確認する。 ② 服用前には、職員2人で確認してから服薬介助にあたる。
平成28年 6月10日	「請求誤りについて」 要支援利用者が月途中で区分変更を行ったが、日割り計算にしておらず、国保連、利用者へ誤った請求を行った。	① 区分変更時の請求方法などの確認を行い、正確な請求業務を行う。
平成28年 8月27日	「利用者の転倒について」 一人でトイレに行くため、立ち上がろうとされた際、バランスを崩し、椅子と隣の車椅子の間に転倒された。	① 頻回にトイレに行かれる利用者に対して、見守りを強化し、その都度、安全確保ができるようにする。 ② 身体状態や認知能力を把握し、安全に行動できる環境を整えておく。
平成28年 11月7日	「公用車の物損について」 送迎時に、駐車していた車を避けようとしたところ、反対(左)側のサイドミラーと車体側部を塀に接触した。	① 片側だけでなく、車体周り全体の安全を確認して慎重に運転を行う。 ② 車幅間隔を身につけ、ゆとりある運転を心がけ、ゆっくり操作する。
平成28年 11月11日	「公用車の物損について」 送迎時、方向転換のためバックをした際、利用者近隣宅のカーポートの屋根に接触し破損した。	① 大型車をバックさせる際には一人の職員が後方の安全確認を行い、声を出して誘導する。 ② 車幅間隔を身につけ、ゆとりある運転を心がけ、ゆっくり操作する。

発生日	事故内容	事故対策
平成29年 1月25日	「公用車の物損について」 送迎時、方向転換のためバックをした際、90度旋回で運転席側に気をとられ、車の後方が外灯に接触する。	① 方向転換が難しいところでは小まめに切り換えを行い、十分に安全を確保する。 ② 車幅間隔を身につけ、ゆとりある運転を心がけ、ゆっくり操作する。